

## 特集「新世代データベース技術—インターネット・マルチメディア・モバイルを中心として」の編集にあたって

清 木 康† 井 上 潮‡

データベース分野では、多数のユーザおよび複数のアプリケーションプログラムがデータベースに蓄積されたデータを共有するための統一的な仕組みを提供するシステムの実現を目的として、これまでに非常に多くの研究開発が行われてきました。その結果、今日では、データベースシステムは計算機システムの必要不可欠な構成要素として広く普及しています。しかし、インターネット、マルチメディア、モバイルコンピューティングに代表される最近の新しい計算機システム環境は、データベースシステムに大きなインパクトを与えており、単にデータを共有するだけでなくデータを活用するための技術に関する研究開発の重要性が高まっています。

本学会は、データベースシステム研究会を中心として、シンポジウムおよび国際会議などの諸活動を通じて、我が国のデータベースシステムに関する技術を先導してまいりました。具体的には、過去10数年間にわたってアドバンスド・データベースシステム・シンポジウムを毎年開催するとともに、国外の学会との協力をともなうて、1989年より国際会議“Database Systems for Advanced Applications (DASFAA)”を2年に1回の頻度で共催してきました。現在、DASFAAは多くの国々からの論文投稿を集め、この分野における有数の国際会議として認知されています。これらのシンポジウムおよび国際会議では、(1) インターネットにおける情報検索、(2) マルチメディアデータベース、(3) データマイニング、(4) 時空間データベース、

(5) モバイルデータベースなどが、最近の中心の一つ重要な研究発表および議論の対象項目となっています。これらは、先に述べた新しい計算機システム環境に呼応した新世代のデータベース技術として位置付けられるものであり、今後の発展が大いに期待される研究領域です。

以上のような本学会およびデータベースシステム研究会の活動をふまへ、最新の研究成果を広く公表するために、“新世代データベース技術—インターネット・マルチメディア・モバイルを中心として”なる特集の企画提案を行いました。本学会論文誌編集委員会の承認を得た後、論文募集の活動を行った結果、26編の論文を投稿いただきました。その後、本学会論文誌査読規定に従った査読手続きにより、14編の論文が採録となり、本特集に掲載する運びとなりました。この論文編集の過程において、赤間浩樹 (NTT)、有川正俊 (広島市立大)、石川 博 (富士通)、大本英徹 (京産大)、大森 匡 (電通大)、加藤和彦 (筑波大)、嶋田茂 (口立)、田中克己 (神戸大)、原嶋秀次 (東芝)、増永良文 (図書館情報大)、宮崎収兄 (千葉工業大)の各氏には、お忙しい中、多くのご助言とご協力をいただきました。ここに深く感謝いたします。

本特集が、データベースの最新技術に関心のある読者皆様のご参考になるとともに、この分野における研究の今後の発展に寄与することを願って結びといたします。

† 慶應義塾大学環境情報学部  
‡ NTT データ通信株式会社